

もしも今日から、「生理」なら。



| プロローグ

メンバーのある一言

「生理痛を疑似体験できる機器があるらしい・・・。」

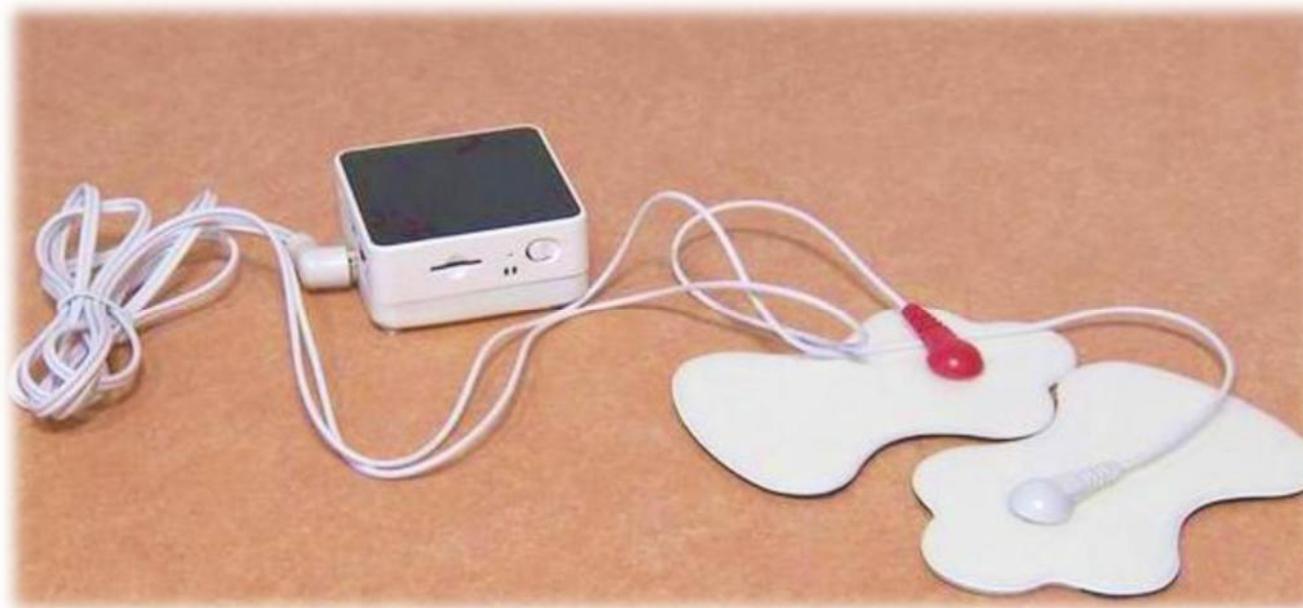
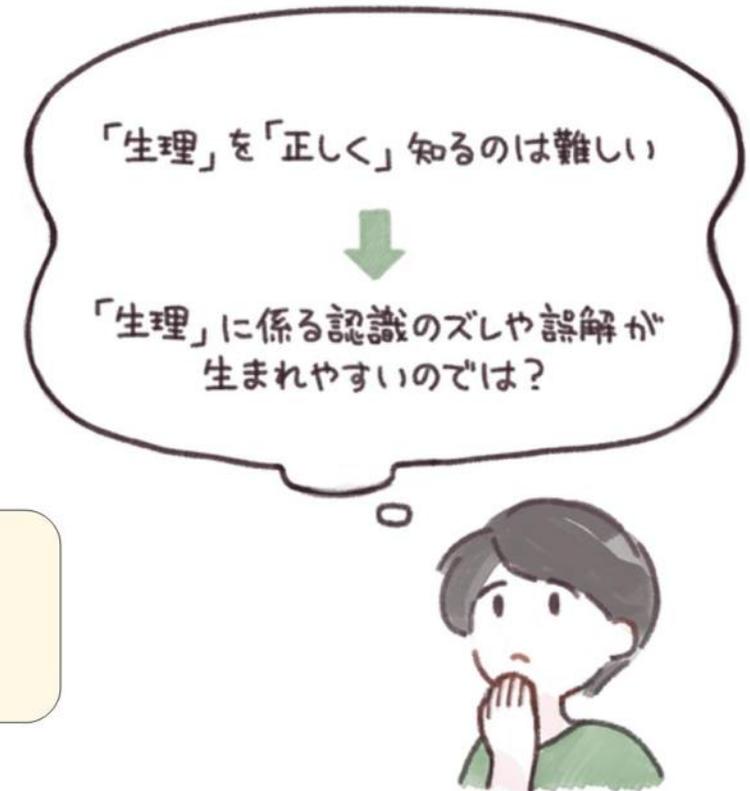
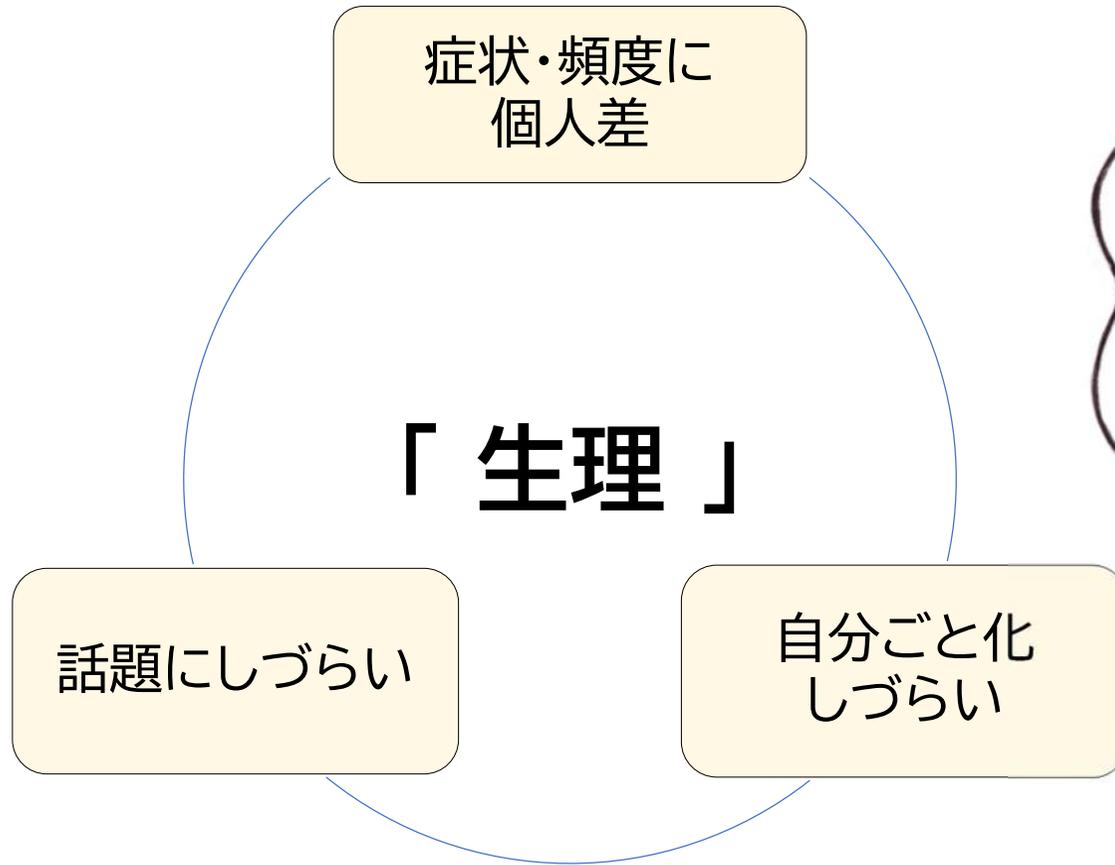


写真:(株)LIFEM

| 当初のメンバー間における認識





| 実際に少し調べてみると…

経済損失計 (A+B) (年間) ^{※1} 計3.4兆円	女性特有			男女双方 ^{※3}
	月経 随伴症	更年期 症状	婦人科 がん ^{※2}	不妊治療
	約0.6兆	1.9兆	0.6兆	0.3兆
A うち労働生産性 損失総額	約5,700億円	約17,200億円	約5,900億円	約2,600億円
欠勤	約1,200億円	約1,600億円	約1,100億円	約400億円
パフォーマンス低下	約4,500億円	約5,600億円	約150億円	約50億円
離職	—	約10,000億円	約1,600億円	約2,200億円
休職	—	—	約3,000億円	—
B うち追加採用 活動にかかる費用	—	約1,500億円	約500億円	約340億円

経済産業省:「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」より抜粋して引用

生理に係る取組が進まない状況ではないのか？



取組の方向性

①「生理」に係る対応等の実情把握

②「生理」に焦点をあてた取組の実践



「生理」への対応が「自分ごと化」された社会形成を促すため、いま出来ることを提案



| 国での直近の動き(抜粋)

～ 事業主行動計画※策定指針の一部改正(R7.12.23公布) ～

※女性活躍推進法に基づき、企業が定める計画

取組項目に「女性の健康上の特性に係る取組」を新設

(主な記載事項)

- ・女性の健康上の特性への理解を深めるため、職場におけるヘルスリテラシー向上のための取組や、女性が相談しやすい体制づくり等の取組を進めることが重要
- ・女性だけでなく職員全体を対象として取り組むことも有効
- ・取組の具体例

女性の健康上の特性に関する研修会の開催、
生理休暇を取得しやすい環境の整備



道内自治体へのヒアリング ～ 苫小牧市 ～

ヒアリング先として着目したポイント

- ・公共施設における生理用品の無償設置、配付を実施
- ・生理痛VR体験等をテーマとしたワークショップを開催



【ヒアリングで学んだこと】

- 無償設置による効果・課題
 - ・利用者から「あって良かった」という声
 - ・配慮のない使用への予防対策
- ワークショップのテーマ設定・課題
 - ・男性も関わるテーマを意識して設定
 - ・参加者の背景や状況が多様であり、議論の進め方には配慮が必要



民間企業へのヒアリング① ～ JCOM(株) ～

ヒアリング先として着目したポイント

- ・社内でフェムテックチーム「Audinary」を設立
- ・社内外における研修やセミナーを企画・運営



【ヒアリングで学んだこと】

○「Audinary」立ち上げの背景

- ・社内の新規事業アイデアの一つとして、フェムテックや女性の健康課題に着目したことが始まり

○研修やセミナーへの参加を促す工夫

- ・国や市場の動きなど経営的視点から示すことで興味を引く



「JCOM(株)主催 「Meets Femtech! in 北海道」に参加！！ ～女性の健康課題は“女性”だけのもの？男性も一緒に考える「企業におけるフェムテック活用」～





民間企業へのヒアリング②

～ 丸紅(株)、(株)カラダメディカ、(株)LIFEM ～

ヒアリング先として着目したポイント

- ・女性の健康課題に係るサポートサービスを提供
- ・職場実態を把握するためのアンケート調査を実施



【ヒアリングで学んだこと】

- アンケート調査の分析
 - ・得られたデータから自企業の経済損失額などを含めた社内の現状を可視化
- 他県との連携
 - ・既に他県でも連携してセミナーの開催や健康相談窓口の設置

| 女性の健康課題に焦点をあてたイベントへの参加

○参加イベント

- ほかいどう ウェルビーイング・リレー講座
⇒女性ヘルスケア、企業のサポート
- SAPPORO DIVERSITY FORUM
⇒月経、更年期、職場の環境づくり
- NoMaps2025
⇒ジェンダー課題の解決
- Meets Femtech! in 北海道(再掲)
⇒フェムテックの市場動向、働く場面での「生理」
- HAPPY WOMAN FESTA 2026
HOKKAIDO
⇒生理に関する課題の解決アイデア、生理痛疑似体験





道庁・札幌市役所の実態把握 ～ アンケート調査の実施 ～

期 間 2025年11月13日(木) ～ 2025年12月12日(金)

対 象 道職員・市役所職員

回答数 3,055件

(生物学上の男性:1,522件、生物学上の女性:1,533件)

内 容 生理に関する認識、職場での状況 等

協 力 丸紅株式会社、株式会社LIFEM



アンケート結果①(抜粋)

道・市女性職員(20~30代)の生理に伴う不調による1年間の影響を金額換算すると…

20~30代女性従業員
全体人件費

月経に伴う不調がある割合
(重度な症状)

約1億3,164万円

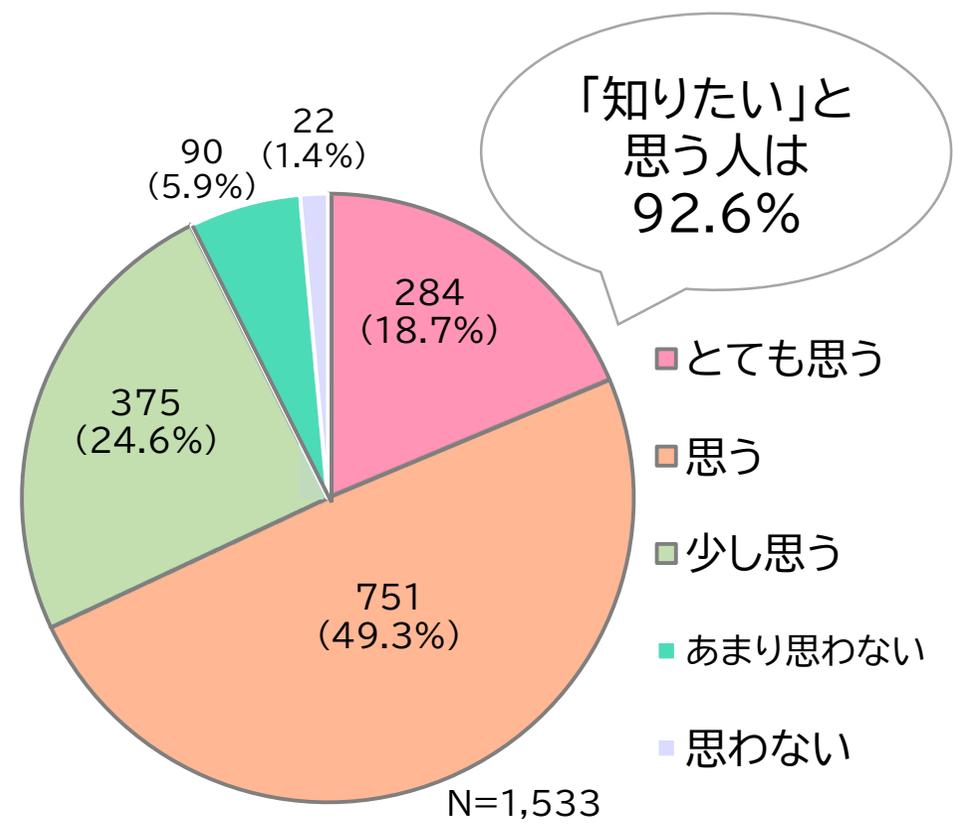
月経に伴う
プレゼンティーズム

月経に伴う不調が出ている
日数の年間割合

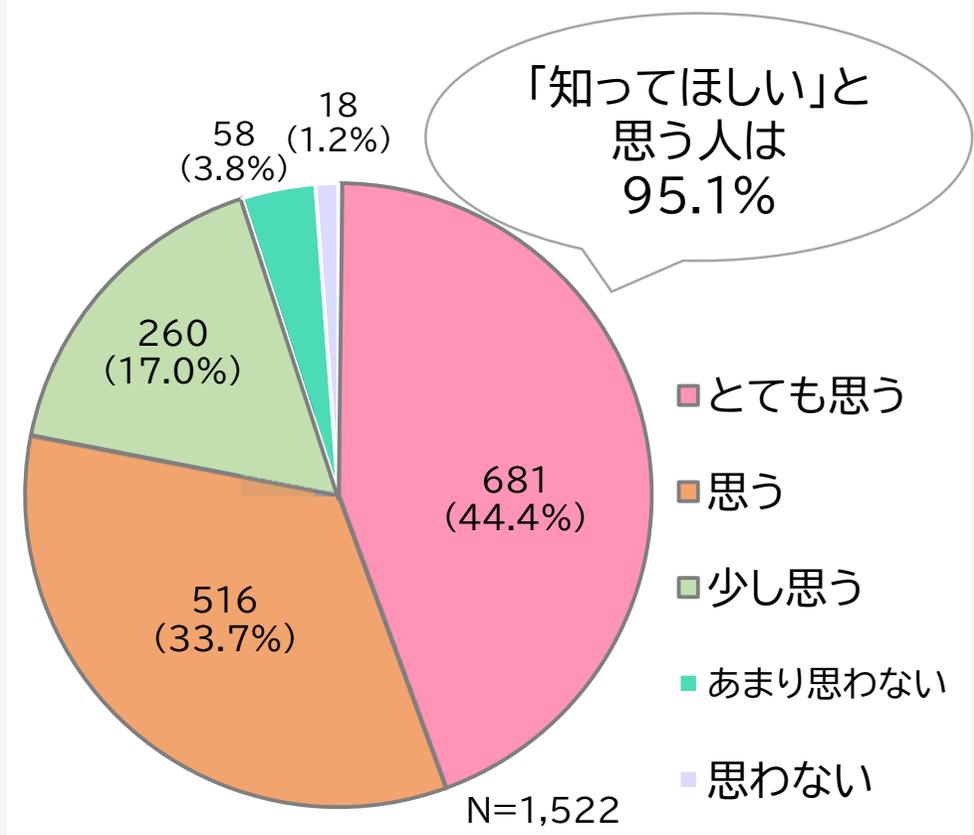


アンケート結果②(抜粋)

Q 生理に関してどのような配慮が必要か
知りたいと思いますか？
※男性のみ回答



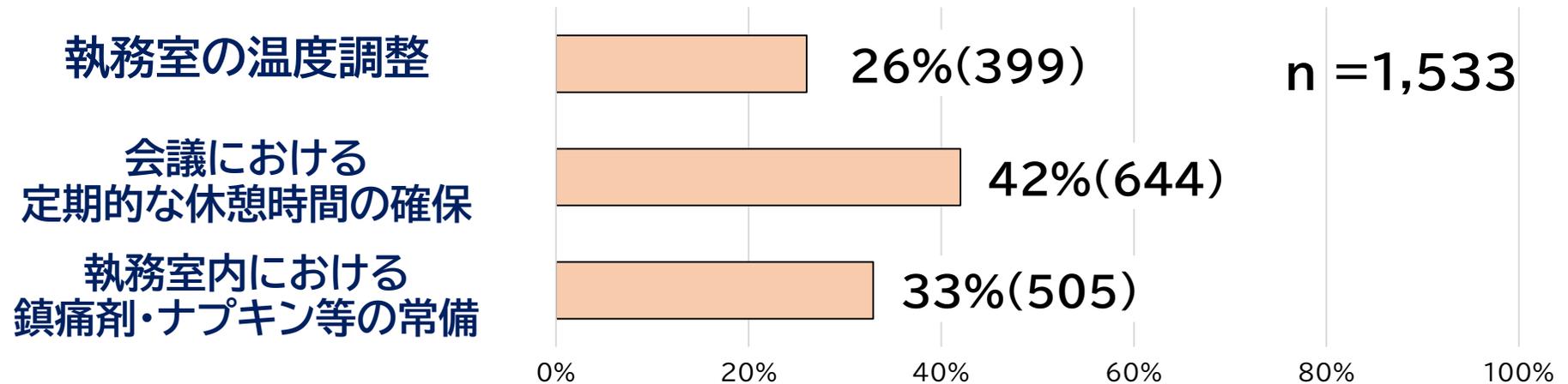
Q 男性にも生理について知ってほしいと
思いますか？
※女性のみ回答





アンケート結果③(抜粋)

Q 生理で起きる不調などで悩んだ際にどのようなサポートを求めますか？



(その他(抜粋・要約))

- ・休暇を取得しやすい職場環境
- ・横になれる休憩室
- ・勤務体制の一時的な見直し⇒外勤・対人業務を控える、在宅勤務
- ・トイレへの生理用品常備
- ・産業医への相談体制の整備



| 実践に向けて…

○国内における官民の動き

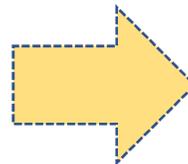
- ・官民ともに「生理」を含めた女性の健康課題に対応するため、様々なアプローチで取組を展開している。

○私たちの職場を知ると…

- ・道庁・市役所ともに「生理」の不調に伴う影響は大きい
- ・男女の相互理解や環境整備が潜在的に求められている

○知った上で取組の方向性を見直すと…

「生理」への対応が
「自分ごと化」された社会



つまり…

「生理」やその対応を正しく知り、
各々の職場で「よりそう」社会



| 取組の目標

私たちの職場で「よりそう」が出来るように…

- ・ 職員が「生理」について知る機会をつくる！！
- ・ 職場環境の改善方法を探る！！

| 実践した内容



「生理」に係るコラム等の作成・掲載



職員向け勉強会の開催



生理用品の試行設置



実践その1 ～「生理」に係るコラム等の作成・掲載～

2025年11月25日(火)
政策局

【アンケート実施中】男女で知っておきたい、フェム+テック=💡【R7みらい会議からのお便り Vol.6】

💡こちらは令和7年度みらい会議：生理チームからのお便りです。
当チームでの取組や告知に加え、コラムなどを投稿しています。

▶前回までの投稿はこちら [Vol.1](#) [Vol.2](#) [Vol.3](#) [Vol.4](#) [Vol.5](#)

こんにちは！みらい会議です！
今回は**フェムテック**のお話です。

アンケート回答が未だの方は是非ご協力をお願いします。アンケート詳細は[こちら！](#)
👉 [生理チームのアンケートフォームはこちら](#) 👉
【回答期間：11月13日（木）～12月12日（金）】



フェムテックってなに？

「フェムテック (Femtech)」について、内閣府男女共同参画局HPでは、以下のように説明されています。

○「フェムテック」とは、「Female (女性)」+「Technology (技術)」の造語で、
生理や更年期など女性特有の悩みを先進的な技術で解決することを指す。
男女共同参画局HP：[コラム3 女性活躍とフェムテック | 内閣府男女共同参画局](#)

テクノロジーの活用について触れた言葉なんですね。

一例として、
・月経周期管理アプリ
・婦人科オンライン診療
・生理痛緩和デバイス
・生理痛体験デバイス
などがあり、この趣旨を持つ製品そのものを指す場合もあります。

○「生理」に係る職員向けコラム等を作成・掲載

期間	令和7年11月～令和8年3月
内容	チームの活動内容+コラム(全11回) コラムのテーマ(一部抜粋) ・そもそも生理って？ ・フェムテックってなに？ ・企業経営と生理の関係性
掲載方法	庁内掲示板等に掲載

○このほか、アンケート結果を活用した啓発資料を作成

実践その2 ～ 職員向け勉強会の開催 ～

北海道・札幌市政策研究みらい会議主催

生理をヒントに職場改善
「よりそう」を考える時間

参加者
募集!

事前知識
不要!

2026年2月18日 水
18:00～19:30

生理は女性にとって身近な健康課題である一方、職場においては、理解や配慮について話題にしにくいテーマでもあります。本勉強会では、みらい会議メンバーが進行役となり、生理に関する基礎的な知識を共有するとともに、「よりそう」職場のあり方を考えます。

誰もが働きやすい職場づくりにつなげる機会として、ぜひお気軽にご参加ください。

- 会場 北海道庁別館 9階 第2号会議室
- 対象 参加を希望する職員(役職・性別不問)
- 定員 30名程度
- 募集締切 2026年2月13日(金)

勉強会内容(予定)

- なぜ今女性の健康課題が注目されているのか
道市の経済損失は〇〇円!?
- 生理に関する基礎知識
生理のしくみ、症状など 専門医協力
- 生理に関する職場の実態
職員アンケートからみる道市の職場の現状 ルナルナオフィス協力
- 職場で「よりそう」を考えよう(参加型ワークショップ)
前半の学びをもとに職場でできる配慮を一緒に考えます

みらい会議の活動は、
公式HP・Facebookを検索!

北海道・札幌市政策研究みらい会議

【勉強会概要】

○北海道庁開催

日時	令和8年2月18日 18:00～19:30
場所	北海道庁別館9階 第2号会議室
参加者	道庁職員18名(男性9名、女性9名)

○札幌市役所開催

日時	令和8年2月19日 18:00～19:30
場所	札幌市役所12階 4・5号会議室
対象	札幌市役所職員14名(男性7名、女性7名)



| 勉強会の内容 ~ ①生理に係る基礎知識 ~

生理に係る基礎知識 ~ 具体的な症状 ~  24

腹痛 腰痛 強烈な眠気 イライラ

頭痛 気分の落ち込み

出血 消化器官の不調

月経過多 貧血

PMDD (月経前不快気分障害) PMS (月経前症候群)

Etc...



生理に係る基礎知識 ~ 具体的な症状 ~  28

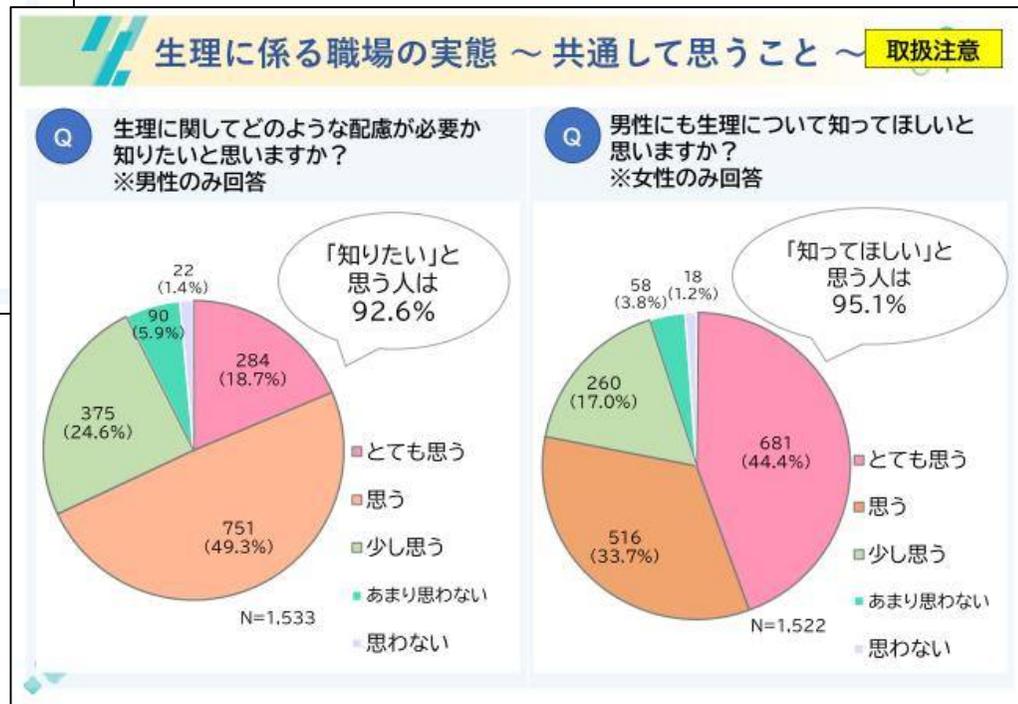
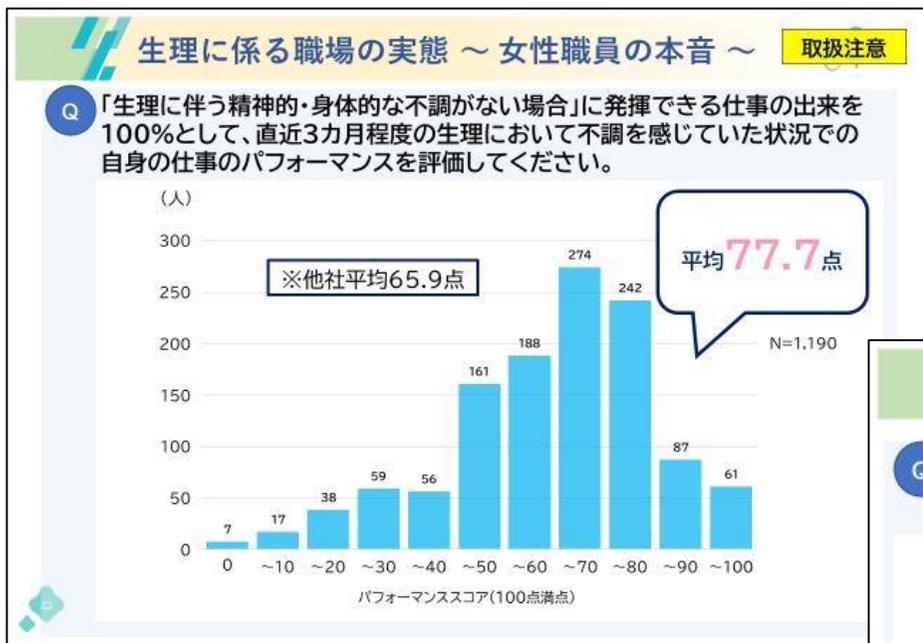
| 実際の重い症状に苦しんでいる職員の声①



Aさん
(ひどい生理痛)

- ・痛みがひどい時は、布団から出られない
- ・痛み止めを飲んでも効果時間が短い
- ・常に湯たんぽをお腹に当てながら業務

勉強会の内容 ～ ②生理に係る職場の実態 ～



| 勉強会の内容 ~ ③職場での実践に向けたワークショップ ~

②“もの”でよりそう ~ お題 ~ 

右の会議室の改修を任せられました。
あなたは、どのようなものを配置しますか？

目的
生理中の女性や、体調不良の職員が安心して働ける会議室を作る

前提条件

- ・予算は自由に使える(上限なし)
- ・今回検討するのは物品の購入・配置
- ・既に配置されている「もの」の買い替え、新たな「もの」の購入もOK



①“仕組み”でよりそう ~ 考えるにあたって ~ 

お題
みなさんは、部内会議の進行役を務めます。
参加者全員によりそうためにどのような仕組みづくりができるでしょうか？

目的
作った仕組み(ルール・きまり)により、
会議参加者全員が最大限パフォーマンスを発揮できるような会議にする

前提条件

- ・会議時間は2時間
- ・参加者は男女ともにいる。女性が生理中かわからない。
- ・場所は普段使用している会議室
- ・物品を購入するなど、新たにお金をかける行為はNG

※ヒント
女性は次のような悩みを抱えているかも・・・
出血が多く経血が漏れないか心配、貧血気味、お腹が痛い
例：〇分に1回休憩をとる

③“コミュニケーション”でよりそう ~ 場面① ~ 

佐藤 由美
(さとう ゆみ)
主任/32歳/女性
・現在の職場は6か月目
・現在、痛みで冷や汗が出ている状態。

我妻 恭平
(わがつま きょうへい)
佐藤の上司/56歳/男性
昭和気質残る上司。

佐藤さん:我妻さん、申し訳ありません。体調の件で相談が・・・。(お腹を押さえる状況)
我妻さん:ん?どうした?
佐藤さん:実は、腹痛がひどく、冷や汗が止まらなくて・・・。薬も効かず、業務を続けるのが難しそうなので、健康管理休暇を取得したいです。
我妻さん:生理痛か。俺は腹が痛いくらいでは休まないぞ!!

赤字の部分、あなたならどのように言い換えますか？

| 勉強会の内容 ~ ④すぐ出来るアクションプランの提案 ~

 おわりに  59

アクションプラン(コミュニケーション編)

相談しやすい風土づくり

↓ ↓ ↓

日頃から 無理せず休む 小さなことでも
同僚や部下と雑談☞ 習慣づくり☞ 頼りあう☞

☞話しやすいの土壌が 整っていく! ☞誰もが休みやすい 雰囲気! ☞支え合いが 当たり前!



 おわりに  58

アクションプラン(仕組み・もの編)

会議に こまめな休憩を!	冷えを防ぐ 空調管理!	汚れが目立ちにくい 椅子へ!
☞集中力UP ☞腰痛対策 ☞(頻尿の人もあるよ)	☞体調不良に○ ☞寒がりの方に○	☞衛生管理が楽 ☞感染症対策に○ (アルコール消毒等) ☞うっかりコーヒーに○





| 勉強会を終えて・・・



Q. 勉強会前後での理解度の変化を教えてください N=31 (未回答1)

	思わない	そうは思わない	わからない	理解が深まった	強く理解が深まった
生理に係る基礎知識	0人	0人	2人	10人	19人
生理に係る職場の実態	0人	0人	0人	9人	22人

ほとんどの参加者が理解度合いが深まったと実感

○ 参加者からの声

- ・自分の感覚と違うこと、全く知らないことがたくさんわかった
- ・「生理」への対応を考えることが、心地よい職場環境づくりにつながると感じた
- ・この勉強会の内容を全ての職員に知ってほしい



| 勉強会を開催して得た気づき

○勉強会による参加者への作用は大きい

⇒勉強会を通じて参加者の「生理」に係る理解が醸成された

○生理に関する勉強会のニーズがある

⇒今回の勉強会の内容をより多くの職員に伝えてほしいという声があった

○「正しく」伝える上でのポイント

⇒知識・手法を押し付けるのではなく、選択肢の「共有」を心掛ける



実践その3 ～ 生理用品の試行設置

提供個数	生理用ナプキン 28個×10 計280個
設置場所 ・期間	○北海道庁本庁舎内 1階と12階 女性トイレ内の手洗い場(計3か所) ○令和8年1月15日 ~ 3月13日
利用想定	急な生理や 手持ちのナプキンが不足した時など
運営方法	女性職員が概ね週1回在庫を確認・補充、 集計データを作成・共有して在庫を管理 ※道環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室にも 協力していただきました！



庁内の掲示板や放送により、
職員全体へ周知を行うことで、
併せて
「生理」を知るきっかけに。



設置にあたって・・・

— 民間企業とのタイアップ事業 — 令和7年(2025年)10月 日 概要

北海道における男女平等参画社会の実現に向けた協働の取組

花王グループカスタマーマーケティング株式会社（以下、「KCMK」という。）と北海道は、男女平等参画社会の実現に向け、誰もが安心して住み続けられ、女性にも選ばれる北海道を目指すため、「女性の活躍支援」に資する取組を連携・協働により実施します。

KCMKが有する知見を活かし、女性の活躍支援に関する取組や情報発信に貢献し、男女が共に力を発揮できる社会づくりの推進に取り組みます。



花王グループ
カスタマーマーケティング
株式会社



北海道
北海道環境生活部

北海道男女平等参画基本計画に基づき男女平等参画に関する意識の向上や、男女が活躍できる環境づくり、安心して暮らせる社会の実現に取り組めます。

男女平等参画社会の実現に向け、次の取組を推進

- 女性が個性と能力を十分に発揮するための仕事と健康の両立支援
- 女性の健康課題に対応できる職場環境の整備等への支援
- 男女が共に活躍できる環境づくりに向けた仕事と家庭の両立支援

具体的取組内容

- ・ 女性特有の健康課題への理解促進や課題解消に向けた取組への協力
- ・ 相互のHPやSNSの活用などによる男女平等参画意識の啓発に関する情報発信及びイベント等に関するPR
- ・ KCMKが有する仕事と家庭の両立支援に係るソリューションの道や関係団体等への提供
- ・ 女性支援に関するイベントや女性活躍推進に関するセミナー等への参画、情報発信

北海道HPより引用

花王グループカスタマーマーケティング(株)にご協力いただき、道庁本庁舎内での生理用品の試行設置が実現💡



| 検証の目的は2つ

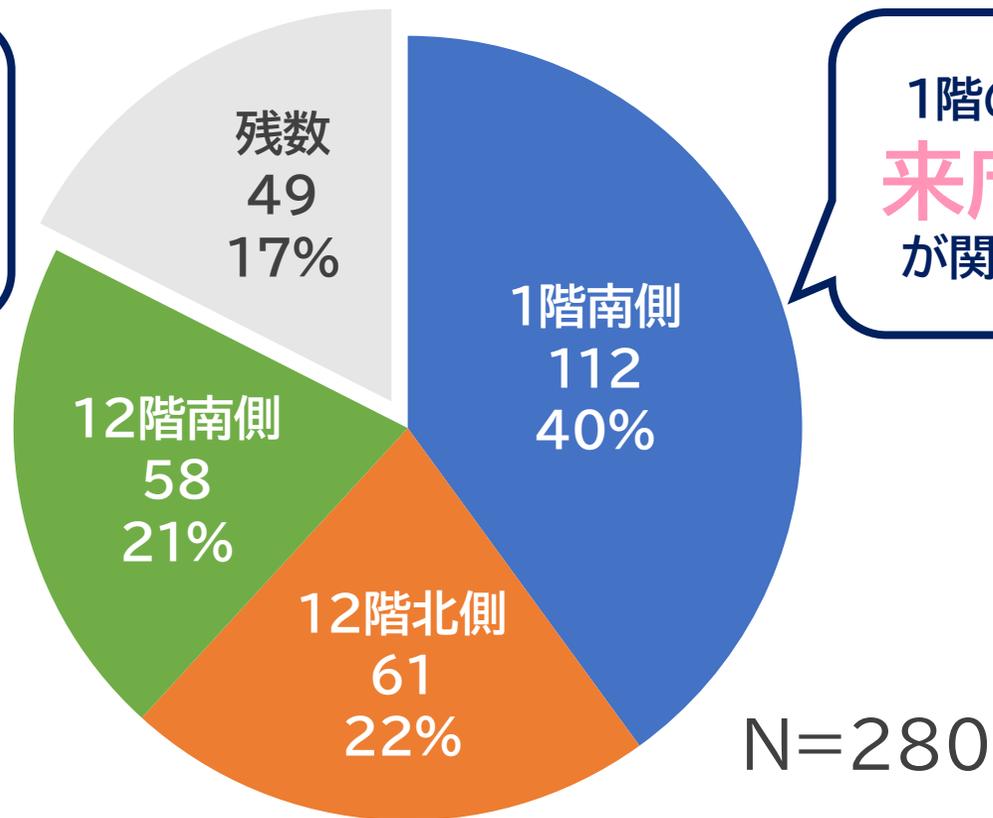
①必要なコストの把握

②実際に利用した人の意見の把握

①必要なコストの把握

※集計期間(約2ヶ月間)

在庫の280個のうち
計231個
在庫の**83%**を消費

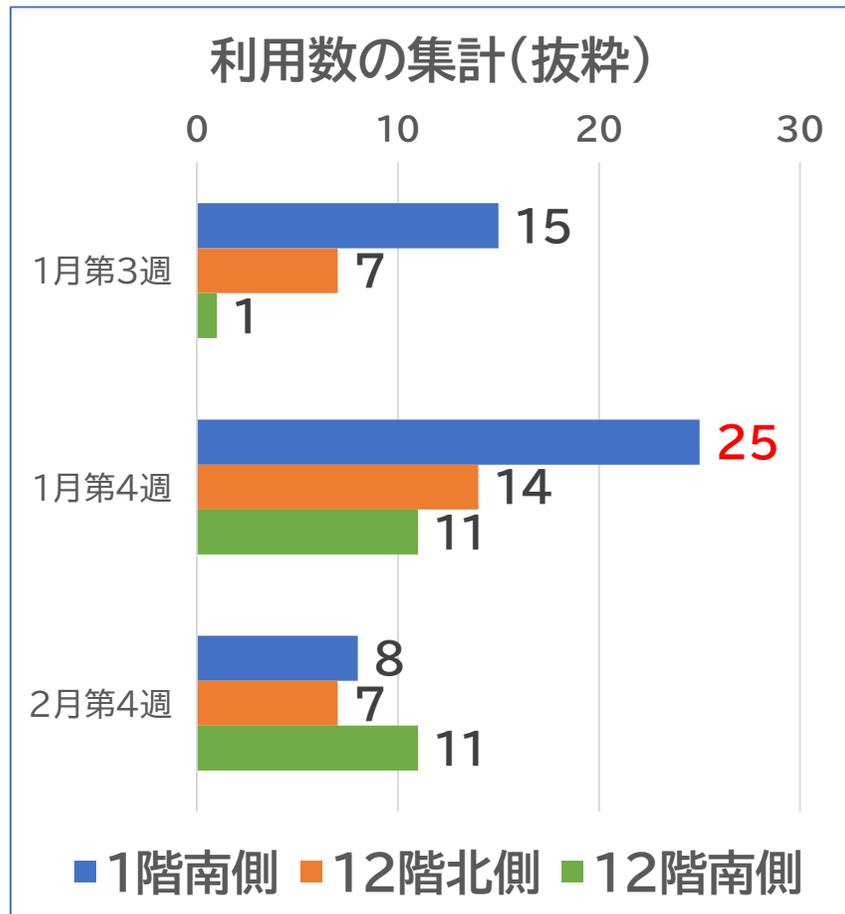


1階の消費が多いのは
来庁者の利用
が関係しているかも？

■ 1階南側 ■ 12階北側 ■ 12階南側 ■ 残数

①必要なコストの把握

(単位:個)



- 週・トイレの場所により、利用数は変動の幅があり、読みにくい。
- 利用数が特に多かった箇所は、多数の利用者がいたほか、配慮のない使用(予備の確保等)があった可能性も考えられる。



①必要なコストの把握

女性トイレ(手洗い場)1か所あたり

・年間利用見込数 **468個**

・年間費用 **10,300円**

保管スペースは
ダンボール2箱分!



(算出根拠)

・3か所・2ヶ月で231個 ⇒ 1か所・1ヶ月で38.5 ≒ 39個/月

・年間利用見込数: 39個×12月=468

・年間コスト: 10個入@220円(※)・・・22円/個×468個=10,296円 ≒ 10,300円

※総務省統計局・小売物価統計調査2026年2月調査結果 生理用ナプキン(10個)単価を活用



②実際に利用した人の意見の把握

【アンケート概要】

○期間

令和8年1月15日～3月13日

○主な内容

設置場所への意見、継続の必要性 など

○回答方法

電子形式・シール形式

回答数:合計86件

生理用品の行内試行設置 利用者アンケート

北摂市・札幌市立道徳研究からいっしょでは、今年度「生活の便利改善」を目標に活動しています。この活動の一環として、生理用品の備品化を推進するプロジェクト「職場のトイレ」を実施するたに、ご協力をお願いいたします。本アンケートは、実際に利用された方々の声を把握するための実施させていただきます。1分程度で終わる簡単な内容ですので、ご協力をお願いします。

※本アンケートへの回答は、匿名であり、個人が特定されることはありません。実施に必要は、北摂市・札幌市立道徳研究からいっしょでの連絡先、活動報告などに使用させていただきます。

※ 回答は必須ではありません。必ずご記入ください。

※ 文字を削除すると共に、**◎** 任意の文字は使用することはできませんので、ご注意ください。

※ プラックの「戻る」「検索」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。

※ 各の回答は匿名で（ページ履歴がない）ため、タイムアウトとなり入力内容が消失されます。ご記入欄がわかる場合は一時保存をご利用ください。

Q1 あなたの立場に近いものを選んでください。 **◎**

一般利用者

運営員又は運営内で勤務されている方

Q2 生理用品を置くとしたらどこ（場所）にあるといいと思いますか。 **◎**

トイレ手洗い場（共用部分）

トイレ個室内

総合受付窓口

その他（自由記述）

Q3 試行設置した生理用品を利用した理由を教えてください。 **◎**

（500文字以内）

無に必要となった

持ってくるのを忘れた

手持ちの生理用品が不足した

職場等から持ち出しにくい

その他（自由記述）

Q4 行内内に生理用品を今後も設置してほしい、あったら便利だと思いませんか。 **◎**

はい

いいえ

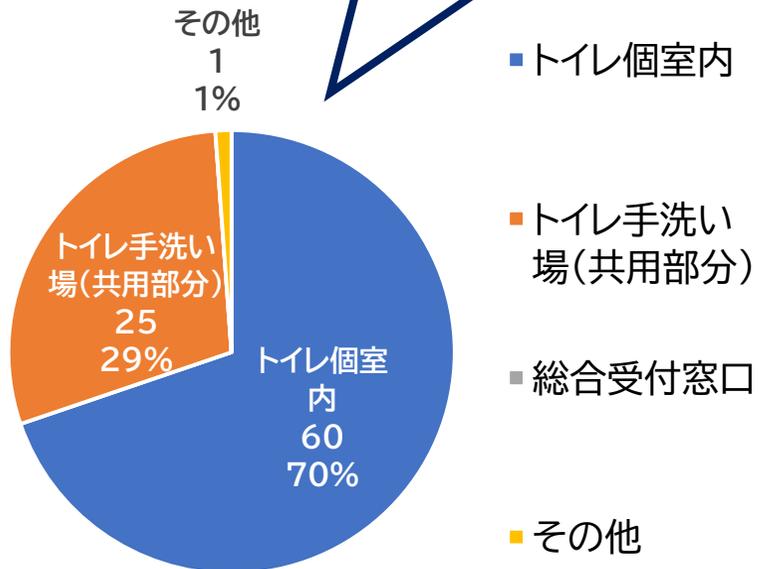
Q5 （自由記述）今後の改善や要望などがございましたら（9999文字まで）



②実際に利用した人の意見の把握

Q 生理用品を置くとしたらどこ(場所)にあるといいと思いますか。

「個室」が70%
「手洗い場」が約30%



N=86

Q 庁舎内に生理用品を今後も設置してほしい、あったら便利だと思いますか。

利用者全員が「A. はい」との回答 🖐️

具体的な意見(抜粋)

- 急な生理で焦ったので、設置されていて良かった。
- 他の階にもぜひ常設してほしい。
- トイレに生理用品があることも、職場環境の改善として、職員のストレスや心配を軽減することに繋がると思う。
- いたずらや盗難なども考えられる。
- 衛生的な不安がある。

一方で「課題」も見えてきた 🗨️



｜ 試行設置をして得た気づき

○トイレへの「生理用品の設置」にニーズあり！

- ・設置継続を求める声、役に立った声が多かった
- ・働きやすさにも繋がるとの声もあった

○今後の設置の検討に向けた知見を得られた！

- ・設置の利用見込数、購入費用、保管スペース

私たちからの政策提案

| これまでの活動を通じて…

○「生理」への対応における正解は十人十色

- ・「知りたい/知ってほしい」と潜在的に思っている一方、「あまり話題に触れてほしくない」という意見も。
- ・それぞれの立場や環境に合った、ちょうどいい対応を見つけていくことが重要。

○だからこそ、中立的立場にある行政が率先して関わり発信するべき！！

- ・触れにくいテーマであり、行政が取り組むことを企業も期待。
- ・行政がモデルとなることで、企業への横展開を促す。

○発信側が「知らない」と説得力がない

- ・「生理」について発信するためには「正しく」知る必要がある。
- ・まだまだ、道・市役所職員の理解・意識の改善余地が見える。

「生理」について
行政が率先して
取り組みませんか？

提案内容① ～ 職員啓発の充実 ～

【作成】北海道・札幌市政策研究みらい会議【協力】株LIFEM

生理をヒントに職場改善～「よりそう」を考えよう～

生理（月経）と職場の関係、知っていますか？

「1億3,164万円」
 これは、北海道職員と札幌市職員における生理に伴う不調による影響を金額換算したものです。生理は、多くの女性が経験する身近な不調であり、仕事の集中力やパフォーマンスに影響することもあります。

生理に伴う不調がある、進捗職員の状況

20～30代で月経に伴う不調（重度）がある割合	月経に伴う不調によるプレゼンティーズム	月経に伴う不調が出ている日数が年間に占める割合
25.6% 約 951 人	本来のパフォーマンス 100% 現在のパフォーマンス 77.7%	年間 13.5% 日数にすると 48 日

【出典】全職員の認識等に関する職員アンケート（令和7年度北海道・札幌市政策研究みらい会議調べ）及び株LIFEMによる分析結果

一方で、

- 話題にしづらい
- 男性にとって「じぶんごと化」しにくい
- 女性同士でも症状に個人差がある

という理由から、認識のズレや誤解が生まれやすいテーマでもあります。

誰もが働きやすい職場づくりは、身近な人のつらさを知ること、想像し、理解しようとするところから始まります。本資料を通して、あなたなりの「よりそう」を考えてみませんか？

女性の健康課題は「社会の課題」でもあります

国の試算では、女性特有の健康課題による経済損失は社会全体で年間「3.4兆円」とされ、このうち生理に伴う不調によるものは「約6,000億円」にのぼります。

① 女性の健康課題に対応し、職場環境を整えていくことは、生産性の向上/社会及び企業の活性化/女性の活躍推進につながる、**社会全体に影響する課題**となっています。

【出典】令和6年2月経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」

▶ P2・3 職員アンケート、結果発表！ ▶ P4 みんなで知っておきたい、生理のこと

○既存職員研修の内容に「生理」に関する内容を盛り込む

（想定イメージ）

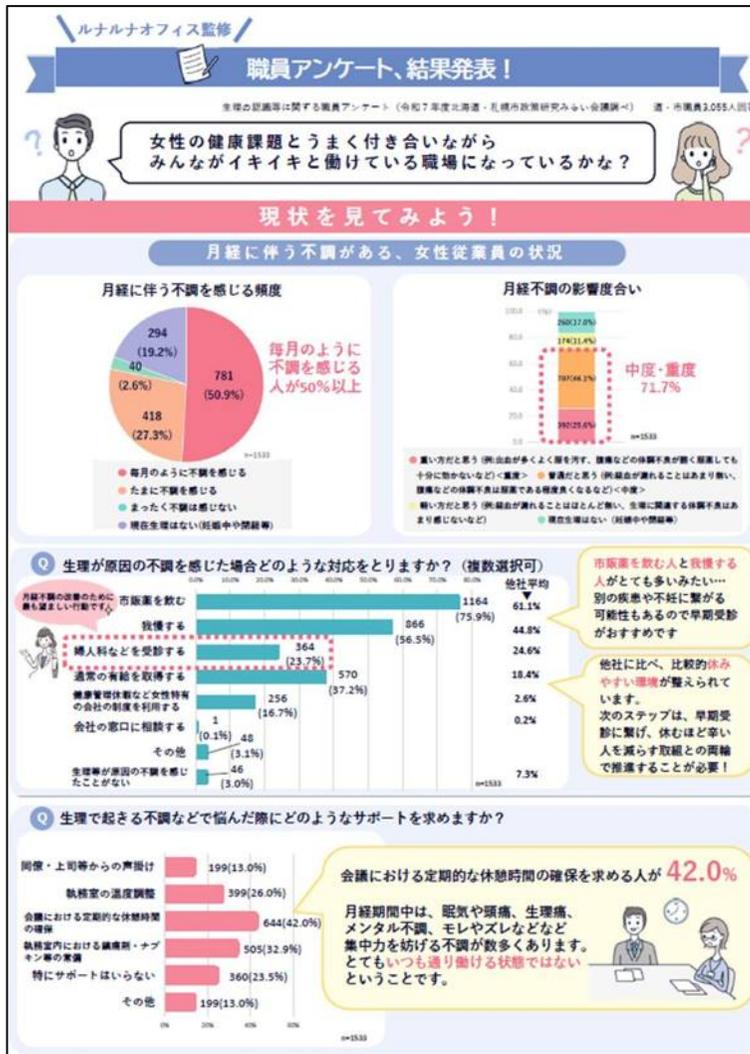
- ・新人や管理職など階層別の研修
- ・キャリアデザインやコミュニケーションなどを目的とした研修

○チームで作成した啓発資料の活用（株）LIFEM監修

（想定する活用場面）

- ・上述した既存職員研修
- ・庁内SNS
- ・女性の健康課題をテーマとした会議

提案内容② ～ 継続的な職員アンケート調査の実施 ～



○調査により職場実態を数値化

(活用イメージ)

- ・提案内容①の定量的な効果測定 (必要により研修・啓発内容を更新)
- ・道庁、市役所職員への結果共有による意識啓発
- ・女性の健康課題に係る新たな施策検討の基礎資料





提案内容③ ～ 道有・市有施設への生理用品の設置 ～

〇トイレトーパー等と同様に消耗品として調達・設置
(設置・管理イメージ)

設置場所	女性トイレ(手洗い場又は個室)
利用想定	急な生理や手持ちのナプキンが不足した時など
設置方法	誰もが必要な都度利用できる専用ボックス等の活用 ※盗難防止や衛生面に配慮した <u>ディスペンサー</u> の活用等も検討
管理方法	清掃業者又は施設管理者による補充・管理 等



花王(株)HPより引用

(想定される年間コスト)※生理用品のみ

試行設置から試算した女性トイレ(手洗い場)1箇所あたりの年間費用×トイレ数で試算すると、

道庁本庁舎の場合・・・

札幌市役所本庁舎の場合・・・

278,100円(約23,200円/月)

226,600円(約18,900円/月)

| 提案した政策により期待される効果

道・市

- ・職員の「生理」に関する理解促進
- ・男女ともに働きやすい職場環境の整備
- ・女性の健康課題に係る施策の説得力向上

企業

- ・行政が率先して取り組むことにより、「生理」を始めとした女性の健康課題への取組が加速化

社会 (道民・市民)

- ・各々の場面に応じた「生理」への対応があたりまえの社会へ。

あなたなりの 「よりそう」を考えよう。

もしも、今日から生理なら。メンバー
まえだ やまざき さとう なかむら はらい ふじしま